

子宮頸がん検診について



子宮頸がん検診は20歳からの受診をお勧めします。

子宮頸がんは50歳以上の中高年層では減少傾向にありますが、20代前半から後半の年代にかけては、以前より3~4倍に増加していると言われています。

一般的に、子宮頸がんは性交、妊娠・出産が発病の原因と考えられています。

子宮頸がんは、早期にみつかることが出来ると、ほとんどの方が治ると言われています。

そのため早期発見・早期治療が非常に大切です。

子宮頸がんの早期発見のために、年に1回検診を受診されることをお勧めいたします。

子宮頸部細胞診

内診台に上がった状態で、子宮頸部を綿棒などで軽くこすって細胞をとります。

細胞採取は2~3分程度で終わり、痛みもほとんどありません。

婦人科内診

婦人科の専門医が診察します。



- 【交通のご案内】
- 都営地下鉄新宿線「浜町駅」A2出口 駅前
 - 都営地下鉄浅草線「人形町駅」A3出口 徒歩6分
 - 東京メトロ日比谷線「人形町駅」A1出口 徒歩6分
 - 東京メトロ半蔵門線「水天宮前駅」7出口 徒歩7分
 - お車の場合、区営浜町公園地下駐車場(有料)
首都高速の場合は「箱崎IC」「浜町出口」で下りてください
※目標はいずれも明治座となります

診療時間のご案内

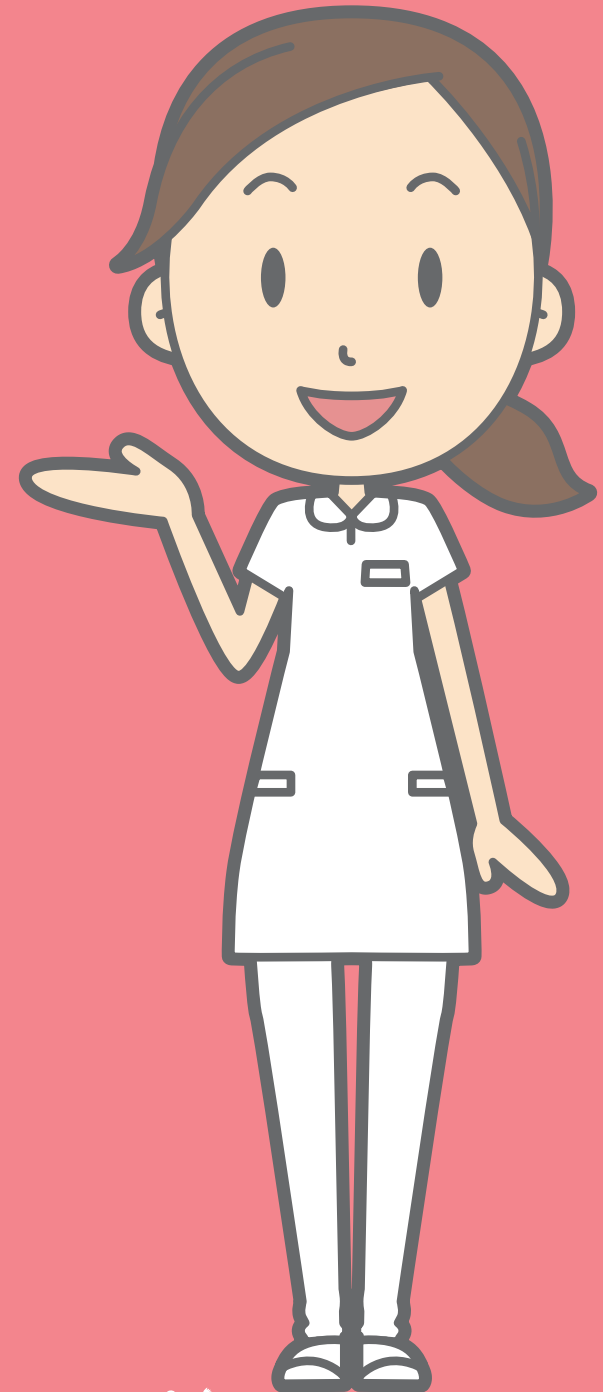
	月	火	水	木	金
午前			検診	検診	
午後					

診療時間 午前9:00~12:00 午後1:30~5:00
 最終受付時間 午前11:30まで 午後4:30まで
 土曜日 午前9:00~12:00
 休診日 日曜、祝日、土曜午後



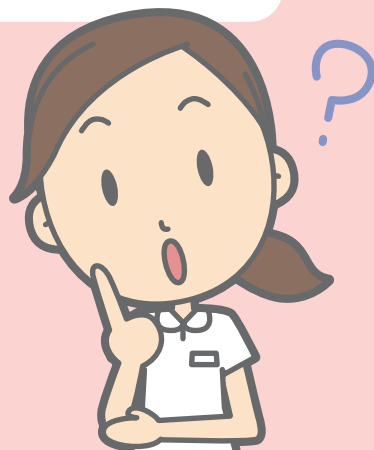
医療法人社団墨水会
浜町センタービルクリニック

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1
 浜町センタービル7階(明治座)
 TEL : 03-3664-6858(代) FAX : 03-3664-6155



浜町センタービルクリニック
<http://www.hamacho-cc.or.jp>

乳がんについて ご存知ですか？



23人に一人が乳がんになる

乳がんにかかる方は年々増加傾向にあり、現在では**日本人女性の23人に一人が乳がん**を経験するといわれています。乳がんは決して人ごとでなく、いつ自分がかかってもおかしくない病気であることを頭に入れておきましょう。

乳がんは予防できる？

残念ながら現在のところ決定的な乳がんの予防法はまだ見つかっていません。年1回の定期検診を受診して早期にがんを発見することが一番の予防法と言えます。

リスクのある方は早めの検査を！

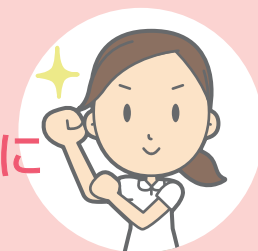
乳がんにかかる方は30代から増え始め、40代～50代にもっとも多くなります。また、乳がんになった家族の方がいる、高齢初産(30歳以上)、飲酒、早い初潮(11歳以下)、乳房の良性疾患の経験、未婚、経口避妊薬の長期使用などが乳がんの危険因子と考えられていますので、このようなリスクのある方は積極的に検査を受けることをお勧めします。

乳がんは早期発見・治療が大切です。
女性スタッフが対応いたしますので、
安心して受診いただけます。



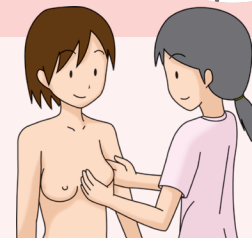
乳がんは早期発見であるほど治る率が高い病気です。また、がんが小さいうちに発見出来れば、女性にとって大切な乳房を温存できます。早期発見につなげるためにもセルフチェックと定期検診を心がけましょう。当クリニックでは、診察のうえ、マンモグラフィ検査と超音波検査の所見を総合的に判断して診断いたします。検査方法としては、発見が確実なマンモグラフィ検査と超音波検査の併用を強くお勧めしています。また、今後のフォローアップについてもアドバイスいたします。

乳がんを 早期発見するために 必要な検査



視検診

医師が乳房を目で見て、へこみやひきつれがないか調べ、直接手で乳房に触れ、しこりを触診します。

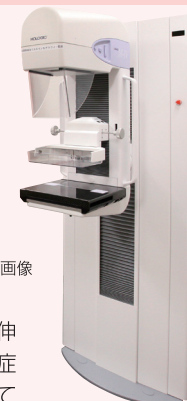


画像検査① マンモグラフィ



マンモグラフィ画像

乳房専用のレントゲン検査。圧迫板で乳房をはさみ、薄く引き伸ばして撮影します。乳がんの初期症状である微細な石灰化を画像としてとらえられます。



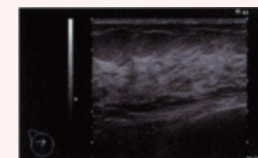
マンモグラフィ

画像検査② 超音波検査 (エコー)



超音波画像診断装置

超音波をあて、はねかえってくる音波を画像化して、乳房内部の様子を映し出します。触診ではわからない数ミリ単位のしこりを発見できます。



乳腺超音波検査画像